



議会だより
News from the Assembly

太良



太良町

平成26年度一般会計予算

50億3千20万8千円

contents 12月定例会

- 平成25年度決算認定……………2P
- 12月定例会議決結果……………3~5P
- 一般質問 4名が登壇……………6~9P
- 議案調査・その他の活動……………10~11P
- 議会の主な活動・街角クイズ……………12P

発行／太良町議会 編集／議会広報編集委員会
〒849-1698 佐賀県藤津郡太良町大字多良1番地6
TEL 0954-67-2151

<http://www.town.tara.saga.jp/>

議会の情報がインターネットで見られます。
太良町役場のホームページにアクセスし、議会情報をクリックしてください。

No.135

平成27(2015)年1月発行
初版発行／昭和56年8月1日

【健康広場の“もちの木”】



新年のご挨拶

太良町議会 議長 末次利男

年頭に当たり、町民の皆様に新春のご挨拶を申し上げます。皆様方には夢と希望をもって新しい年を迎えられたと思います。日頃から太良町議会に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと全国的に異常気象による大規模災害多発の年でありました。幸い太良町では、被害等は最小でしたが、日照不足等でみかん、のりをはじめ農林漁業に多大な影響がありました。

一方地方自治体が抱える諸課題が山積する中で、少子高齢化による人口減少問題は喫緊の課題で、昨年七月佐賀県で開催された全国知事会は、日本の構造的課題に対し、国を挙げて取り組む必要性から非常事態宣言が採択されました。

地方創生は古くて新しいもので、今の重苦しい空気を打破するため今何が必要か、長期ビジョンの作成が求められます。

太良町が直面する厳しい現状を踏まえ、町民の期待と信頼に応え議会本来の機能を十分発揮し、責任と使命を位置づけた活性化に取り組んで参りましたが、更に機能を高め町民の代表機関として八月の改選期を控え、当面する諸課題の解決に向け一層の努力を注ぐ覚悟であります。

平成二十七年の新春に臨み、今年が町民の皆様にとって健康で幸多い年でありますよう祈念致しまして新年の挨拶と致します。



平成25年度決算認定

健全財政を維持

平成25年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定について、10月21日～23日の3日間にわたり項目ごとに慎重に審査した。

歳出については、適正な執行状況とその効果を。また、歳入については、不納欠損に当たっての徴収努力は図られたのか、滞納整理はどのようにされたのか等の質疑を行った。

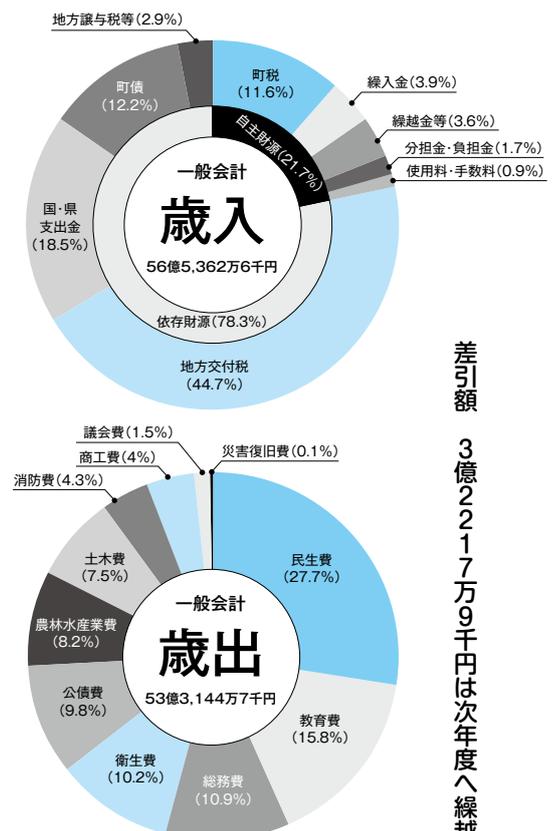
その結果、適法に処理され、適正に運営されていることを認定した。

なお、各会計ともに黒字決算であった。

以下、主な意見である。

- ◎町立太良病院の医師の確保に努力を。
- ◎職員の超過勤務時間が多すぎるので健康管理を含めた対応策を。
- ◎ふるさと納税制度を活用した活性化策の検討。
- ◎不妊治療助成を男性まで拡大できないか。
- ◎育英資金貸付基金を利用しやすい様に検討を。

【一般会計決算の内訳】



差引額 3億2217万9千円は次年度へ繰越

26年12月定例会議決結果

12月定例会は、9月定例会で決算審査特別委員会に付託されていた平成25年度各会計の決算認定8件、専決処分1件、事件議案11件、補正予算5件及び人事案件1件の計18件が町長より、また、意見書1件が議会より提案され、議決結果は次のとおりです。

※件名及び内容については、一部省略しています。

※議長は採決には加わりません

議案番号	件名	議決結果	内 容	
9月定例会で決算審査特別委員会に閉会中の継続審査として付託していた案件	平成25年度太良町一般会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町一般会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 56億5,362万5,900円 歳出 53億3,144万7,442円 差引額 3億2,217万8,458円	
	平成25年度太良町山林特別会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町山林特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 1億2,123万1,415円 歳出 1億1,427万5,967円 差引額 695万5,448円	
	平成25年度太良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 1億2,433万6,975円 歳出 1億2,023万4,281円 差引額 410万2,694円	
	平成25年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町国民健康保険特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 18億1,119万1,687円 歳出 17億3,616万9,621円 差引額 7,502万2,066円	
	平成25年度太良町漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町漁業集落排水特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 5,798万6,933円 歳出 5,098万9,991円 差引額 699万6,942円	
	平成25年度太良町簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定	認定 賛9・否0	平成25年度太良町簡易水道特別会計歳入歳出決算を認定に付するもの 歳入 7,366万3,673円 歳出 6,798万9,944円 差引額 567万3,729円	
	平成25年度太良町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定 賛9・否0	平成25年度太良町水道事業会計剰余金の処分及び決算を可決及び認定に付するもの 収益的収入 5,674万2,740円 収益的支出 4,764万2,142円 差引額 910万598円	資本的収入 259万5,635円 資本的費用 1,630万166円 差引額 △1,370万4,531円

議案番号	件名	議決結果	内容	
た 閉 会 中 の 継 続 審 査 と し て 付 託 し て い た 案 件	平成25年度町立太良病院事業会計剰余金の処分及び決算の認定	可決及び認定 賛9・否0	平成25年度町立太良病院事業会計剰余金の処分及び決算を可決及び認定に付するもの	
			収益的収入 10億3万5,568円	資本的収入 8,478万500円
			収益的費用 9億5,029万7,896円	資本的費用 1億2,209万7,100円
			差引額 4,937万7,672円	差引額 △3,731万6,600円
第70号	専決処分事項の承認(一般会計補正予算(第4号))	可決 賛9・否0	衆議院議員選挙及び佐賀県知事選挙に伴う1,137万7千円の増額補正 歳入歳出総額 50億3,020万8千円	
第71号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	可決 賛9・否0	人事院勧告等に伴う、給料表の改正及び勤勉手当等の改正を行うための条例制定	
第72号	太良町議会議員の議員報酬及び費用弁償等支給条例の一部を改正する条例の制定	可決 賛8・否1	人事院勧告に伴う、期末手当の率改正を行うための条例制定	
第73号	町長及び副町長の諸給与条例の一部を改正する条例の制定	可決 賛9・否0	人事院勧告に伴う、期末手当の率改正を行うための条例制定	
第74号	教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛9・否0	人事院勧告に伴う、期末手当の率改正を行うための条例制定	
第75号	太良町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可決 賛9・否0	出産一時金の改正に伴う条例制定	
第76号	太良町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定	可決 賛9・否0	中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴う条文整理のための条例制定	
第77号	太良町土地開発基金条例を廃止する条例の制定	可決 賛9・否0	設置目的が終わったので条例を廃止するもの	
第78号	指定管理者の指定 〈太良町中山キャンプ場〉	可決 賛9・否0	太良町中山キャンプ場の管理運営 指定の期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日 指定する団体 太良町大字多良1422番地 太良美装 代表 江川 二作	
第79号	指定管理者の指定 〈太良町社会教育施設等〉	可決 賛8・否1	太良町営野球場ほか11施設の管理運営 指定の期間 平成27年4月1日から平成30年3月31日 指定する団体 太良町大字多良1422番地 太良美装 代表 江川 二作	
第80号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更に係る協議	可決 賛9・否0	天山地区共同環境組合が市町総合事務組合に加入するため	

議案番号	件名	議決結果	内容
第81号	財産の取得〈太良町地域イントラネットシステム設備〉	可決 賛9・否0	太良町地域イントラネットシステム設備を構築するための財産の取得 取得価格 1,872万6,768円
第82号	平成26年度太良町一般会計補正予算(第5号)	可決 賛9・否0	国民健康保険特別会計繰出金、住宅建設用土地購入等に伴う4億4,313万9千円の増額補正 歳入歳出総額54億7,334万7千円
第83号	平成26年度太良町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決 賛9・否0	国保給付費基金積立等に伴う1億円の増額補正 歳入歳出総額18億5,508万1千円
第84号	平成26年度太良町漁業集落排水特別会計補正予算(第3号)	可決 賛9・否0	給与等の改正に伴う補正 平成26年度の予算額6,999万6千円
第85号	平成26年度太良町簡易水道特別会計補正予算(第3号)	可決 賛9・否0	給与等の改正に伴う補正 平成26年度の予算額1億110万4千円
第86号	平成26年度太良町水道事業会計補正予算(第3号)	可決 賛9・否0	給与等の改正に伴う補正 平成26年度の予算額8,311万5千円
第87号	教育委員会委員の任命	同意 賛9・否0	教育委員会委員の任命 岩永 由香里さん 任期4年
意見書 第10号	農業の持続的発展等に向けた農政重要課題に対する意見書(案)の提出	可決 賛8・否1	<p>本町農業は、これまで農畜産物の生産振興と国民への安全・安心な農畜産物の安定供給に努めているが、昨今、こうした取り組みを脅かす農政上の重要課題が多数存在している。</p> <p>一つは、TPP交渉であり、11月上旬での大筋合意には至らなかったものの、交渉内容の情報開示は行われないままであり、年明け以降、急展開も予想され、予断を許さない状況が続いている。</p> <p>二つ目としては、水田農業政策であり、新たな農業・農村政策の実行元年において、米は、民間在庫の過去最高水準到達見通しと、相対価格の過去最低水準への下落、さらには本県作柄の不作基調等、再生産可能な所得の確保すら厳しい状況になっている。</p> <p>三つ目としては、農協改革であり、政府は、平成26年6月24日に改訂した農林水産業・地域の活力創造プランにおいて、農協制度の見直しを強く求められているが、その内容はこれまでJAが果たしてきた農業振興と地域振興の機能低下、さらには農業者への多大な影響が懸念される。</p> <p>これらの情勢を受け、JAグループは、指摘された課題を真摯に受けとめ、今後、5年間を自己改革集中期間として、自らの事業・組織の改革に徹底して取り組むことを決定した。さらに、本県JAグループにおいても、本県の実情にあわせた改革をこれまでも実施し、今後もさらにすすめていくこととしている。よって、これからの情勢・課題を鑑み、本町の基幹産業である農業の持続的発展と豊かで暮らしやすい地域社会の実現にできるよう国会、政府に要望するもの。</p>

一般質問

田川 浩 議員

特産品のお返し付き「ふるさと納税」に取り組むではどうか

答▼来年度からの実施に向け準備中である



議員 最近、地域の特産品をお返しに付けた「ふるさと納税」が全国的にちよっとしたブームになっていく。これは、自分が居住する以外の自治体に寄付することで一定の税額が控除される制度だが、金額に

応じて特産品を付ける自治体が出て来たことで非常に活性化している。その控除額はどのくらいか。

企画情報係長 目安だが、年収400万円の共働き世帯で高校生の子どもが一人いた場合、約2万円である。

議員 ふるさと納税の県内の状況はどうか。

企画情報係長 特に寄付金額で実績をあげているのが玄海町と小城市で、玄海町は今年の10月末時点で4億円を超えている。

議員 本町はどうか。

企画情報係長 昨年度が33万円、本年度10月末までで約63万である。

議員 本町でお返しの商品付きふるさと納税をやっていないのはなぜか。

企画情報係長 特産品などを贈呈するのはふるさと納税の趣旨にそぐわないという判断だった。

議員 受益者負担の原則から外れるということとは分かるが、それ以上にメリットがあると考える。まず、自主財源の確保になる。本町の収入で自主財源の割合はどのくらいか。

財政課長 自主財源は約2割で、残りの約8割が依存財源である。

議員 次のメリットとして、地場特産品の新たな販路となり、売り上げアップ貢献できると思う。その他、雇用促進などにもつながる。町内特産品の年間販売額はいくらぐらいか。

農林水産課長 ミカンが農協扱いで約9億円、海苔が漁協扱いで約2億8000万円である。

議員 仮に1億円の寄付金があり、お返しの商品に半

分使った場合5000万円が動く。小さな額ではないと思う。また、近い将来、控除額が2倍になり、確定申告の手続きも簡素化になるという情報もある。

企画情報係長 地方創生を目指す、まち・ひと・しごと創生本部で検討されていたと聞いている。

議員 もし本町で実施する場合、どのような課題があるか。

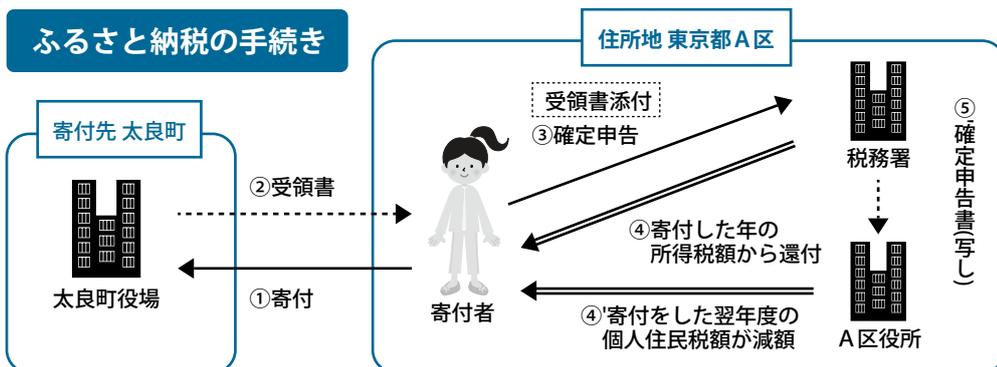
企画情報係長 生ものの衛生管理、特産品の選定方法、PR方法、発送方法などが考えられる。

議員 選定の方法だが、まずは寄付者というか消費者の視点に立って、選定してもらいたい。今後の予定と方向性はどうか。

町長 町内特産品の販路拡大、また生産者の直販にもつながるため、来年度からの実施に向け準備中である。企画や調整に時間がかかるので、実際には来年の半ば過ぎからの実施になると思う。

議員 来年度うまくやれなかったらその他大勢の中に埋もれていく。これからの参入は他の自治体との競い合いということになるので、いい企画を立ててもらいたい。

ふるさと納税の手続き



一般質問

下平力人 議員

雇用促進としての補助金は検討できないか

答▼雇用助成金が創設されればその制度を利用する

人口減少対策について

議員 我が町では外部からの企業誘致は難しい状況であり、人口流出は止められない。そこで町内の企業等の雇用促進対策として若年者の雇用を行った事業所に対し雇用助成金等を交付で

きないか。
町長 地方創生事業で雇用助成金等が交付されるような内容があればその制度を利用する。

太良町には大きな企業もなく、交通アクセス面や立地条件が悪く、企業誘致にいたらない現状で、対策には大変苦慮している。現時点では助成金等を交付する考えはない。

今後は国県よりその具体的な対策内容が示されるような内容があるならば、その制度を利用したい。

議員 若年層の町内への就職促進策として、町単独事業等を考えられないか。

町長 助成金をやるにせよ、今後の検討課題である。

議員 将来的に若者の定住は絶対必要と思う。もうひと工夫、ふた工夫お願いしたい。

町長 今後も企業側と十分な話合う場をつくりながら若い後継者が町内に永住するような対策を持っていき

たい。若い町民が町外に出ていく状況であるので若者の子育て支援対象者の定住住宅、その方法も考えている。町内に限らず近隣市町村にお願いし、総合的に判断していく。

議員 太良町に籍を置きながら町外に勤務されている人はどれくらいいるのか。
町長 平成22年10月1日現在での町外への就業者が951人。

議員 太良町に籍を置きながら可能な限り町外で働きたいと考えている人達との意見交換等が必要ではないか。

町長 各種団体と協議を重ね結果を見出したい。

イノシシの被害防止対策について

議員 今や全国的にイノシシ被害が深刻な問題になっているが対策は。また、イノシシ肉の良い活用方法はな

いか。
町長 全国各地でイノシシによる農作物への被害は増加し、県内の農作物の被害額は平成25年度で1億1023万円4000円の被害が発生しており、町では幾らかの手法を併用し被害を抑え込む取り組みを行っている。

一つ目はイノシシの捕獲による取り組み。
二つ目は田畑を防止柵で囲う被害防除。

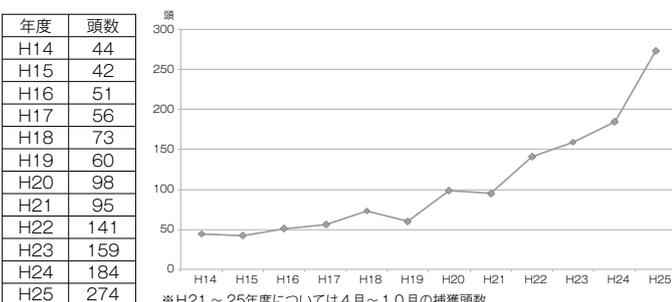
三つ目がイノシシが好む場所を作らないため耕作放棄地等の解消するよう取り組みを行っている。今後も国や県の被害防止事業を活用して効果的かつ効率的なイノシシの被害減少に努める。

流通は少ない。イノシシは家畜と異なり一定のリスクが認められるため、衛生管理やリスクをクリアした上質のイノシシ鍋やウインナーソーセージ等の加工品として活用できないか研究していきたい。

農林水産課長

いろいろな電気牧柵やワイヤメツシュなど国県の事業や町単独の事業でイノシシの個体を減らすことを努力する。

太良町におけるイノシシ捕獲頭数の推移



一般質問

坂口久信 議員

農業振興(ミカン)について

答▼今後も太良町のミカンのPRに努めていく

議員 太良町の基幹産業であるミカンについて今後のような取り組みを行っていくか。

議員 早生ミカンの構成比率の見直しが指摘されている。今後は改植事業を活用して極早生ミカンから早生ミカンや普通ミカンへの改植を推進して、早生と

町長 極早生ミカンは、普通品種に比べて単価が安いため、以前から果樹関係機関等から太良地区の極

普通の構成比率を高めて安定した収益が出るようにしていきたい。又、高品質のミカン生産に向けてブランド率向上推進費補助を継続してマルチ被覆面積の拡大に努めてまいりたいと思っている。



議員 今後ミカン農家の後継者が、将来希望をもって生活が出来る基盤づくりについて、どのように考えているか。

町長 後継者不足⇨労力不足の状況であるので、家族構成によって、ハウス、極早生、普通早生、温州ミカン、雑柑と一年通して人力で自分の家族で賄う経営方法が一番ベターじゃないかと考え、農協に指導をお願いしていきたい。

議員 太良ミカンを町外にPRするのに町長の考えは特別もっておられるか。

町長 町が宣伝する以上は、限定品で糖度のあるミカンの出荷及びミカン箱のデザインについても、農協・個人出荷者と話し合っ

機構改革について

議員 地域の活性化をはかり、少子化、地域再生、観光等の対策を推進するための専門的な部署または係等を設置する気はないか。

町長 発想は必要であると考えている。人口減少対策あるいは少子化対策等は、専門的部署を設置するには余りにも対象が広過ぎるので全課を挙げて総合的に対応したいと思うが、例えば観光だけを担当する係また課をつくる

か、縁結びだけを担当する係また課をつくること、今必要と思われる事業を特化して担当する部署の設置の必要性は十分私も感じてい。既に副町長、総務課長に指示している。今後機構改革について柔軟に対応し、町の活性化につなげたいと考えている。

議員 少子化対策について町長の考えは。

町長 若者定住対策あるいは医療費の無料化、それから幼稚園の保育料の免除、給食費の免除等々で、議員おっしゃるとおり第一子、二子、三子と出産祝い金あるいは小・中学校

の卒業祝い金等々で内部的には今話を煮詰めていくところ。商工会、観光協会についても、町に計画、立案して予算等を組めとか、職員増をお願いしたいというふうなアドバイスも行政としてはお願いしたいと思う。



太幸トップセールスの様子

一般質問

所賀 廣 議員

町立太良病院の今後の経営形態と医療体制は

答▼現状の経営形態を維持していきたい

議員 経営形態を変え、退職金組合から脱退できた場合、その納付はどれくらい減額できるのか。

病院事務長 平成25年度のデータ数値からいくと約5000万円、その半分以上というところで2500万円以下で済むと考える。



議員 独立行政法人化を考えた場合、事務的作業が増大するというデメリットがあるとはいえ、2500万円以下ということであれば検討する価値が充分あると思うが。

病院長 給与面に関してはメリットとしてあるが、デメリット部分はかなり大きいことと、経営的に言えば黒字化が維持できているので、独法化は今のところ考えていない。

議員 平成25・24年度の医療実績を見ると、入院収益は増加しているが、外来収益は減少している、その主な要因は。

病院事務長 小児科の常勤医がいなくなり約5000人の外来減少が大きく響いた要因だと言える。



整形外科の受付風景

議員 太良町では多くの方が人工透析を受けておられると思うが、民間医療機関による提供が困難な医療を提供する観点から当院でも考える必要があると思うがどうか。

病院長 医師、臨床工学技士、看護師の確保が困難な点、医療機器に係る費用は7000万円程度等、かなりの初期投資となる。特定検診の受診率を上げ生活習慣病になる患者数を減

らし人口透析予備群を治療していく事が大切だと考える。

議員 初期投資を含めた費用対効果も大事な事と思うが、患者さんのために将来を見据えて前向きに検討する必要があると思うがどうか。

病院長 一定地域で病院ごとに役割を決めてという主流的な考え方を踏まえて、ほかの病院と連携をとり生活習慣病についても各方面と情報を共有しながら、町ぐるみで予防治療を充実させていきたい。

議員 小児科の医療体制について、夜に急変するお子さんが多いと聞くが連絡があった際に速やかに対応できる体制ができるものか。

病院長 発熱の場合などは診れる対応はとれますが乳幼児の方で対応が難

しいときには、嬉野医療センターに紹介するか、直接連絡していただくことになるかと思えます。

議員 開業医をおやめになった医師を公募して、臨時職として診察にあたっていただくことも一つの案として検討していただきたい。経営形態にしても人工透析にしても小児科医療体制にしても、患者の方、保護者の方が希望を持てるような医療体制づくりに一層努力していただくことを切望したい。



病院窓口風景

農業の持続的発展に向けた要請書を受理!!

佐賀県農業協同組合、みどり地区農政協議会、みどり地区農政協議会太良支部から要請書が提出されました。

内容は、

- 1.TPP交渉
 - 2.水田農業政策
 - 3.農協改革
- の要望について意見交換を行いました。



議案調査

新たに計上された 予算をチェック!!

◎デイサービスせと・デイサービスせとサロンの両施設に利用者の安全確保を図るため、スプリングラダーを設置。

地域共生ステーション防災対策整備事業費補助金200万円(2ヶ所分)

▼ デイサービスせと



▼ デイサービスせとサロン



◀ 大浦幼稚園

平成27年4月の認定こども園移行に伴う、乳児室などの増築工事に対する補助金の内容を調査。

保育所緊急整備事業費補助金 1,616万4千円

町村のさらなる振興発展をめざして!!

第58回町村議会議長全国大会が11月12日に東京NHKホールで開催されました。

大会では、

- ①東日本大震災からの復興と大規模災害対策の確立
- ②真の分権型社会の実現
- ③道州制導入の断固反対
- ④町村税財源の充実強化
- ⑤地方創生と人口減少克服

以上5項目の特別決議がなされました。



大刀洗町議会が行政視察研修で来町



福岡県大刀洗町議会改革特別委員会が10月30日に議会の活性化について太良町議会を訪れました。

研修では、議会基本条例を基とした意見交換を行いました。

基本条例の制定後の活動については、簡単ではないが、議会報告会等の地道な活動が必要と感じました。

民生児童委員会との対話会議

10月4日に民生児童委員と福祉行政について意見交換を行いました。

活動をする上で、個人情報保護による情報不足・委員へのなり手不足問題など、様々な要望を拝聴できました。個人情報の取り扱いについては、後日、担当課と協議をし、その結果を報告しました。



議会の主な活動 10月～12月

- 10月
- 7・第17回市町村行政講演会
 - 9・議会広報編集委員会
 - 9・太良町老人短大
 - 10・第67回県民体育大会太良町結団式
 - 14・民生児童委員会との対話会議
 - 14・平成26年度町村議会広報研修会
 - 14・佐賀県西部広域環境組合議会全員協議会
 - 15・第29回議会活性化特別委員会
 - 17・多良岳200年の森設置記念式典
 - 20・佐賀県町村議会議長会議
 - 20・平成26年度佐賀県西部広域環境組合議会第2回定例会
 - 21～23・決算審査特別委員会
 - 24・国道207号改良促進期成同盟会及び有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会要望活動
 - 26・鹿島市市制60周年記念式典
 - 26～30・佐賀県町村議会議長行政視察研修
 - 30・福岡県大刀洗町行政視察来町
 - 31・佐賀県後期高齢者医療広域連合議会10月定例会

- 11月
- 1～2・第43回太良町文化祭
 - 8・全国消防操法大会応援
 - 12・第58回町村議会議長全国大会
 - 14・全国過疎地域自立促進連盟第45回定期総会
 - 19・第30回議会活性化特別委員会
 - 22～23・第10回十夜市太良町全員祭り
 - 2・議会運営委員会
 - 5・12月定例会招集
 - 5・全員協議会
 - 5・防災関係説明会
 - 7・郡市対抗県内一周駅伝大会
 - 7・嬉野・太良駅伝チーム結団式
 - 9・12月定例会一般質問
 - 10・議案調査
 - 10・第31回議会活性化特別委員会
 - 12・12月定例会議案審議
 - 12・総務常任委員会所管事務調査
 - 24・議会広報編集委員会
 - 29・消防団年末特別警戒巡視慰問



傍聴風景及びコメント

栄町 S.O様

町議会を傍聴にいく機会があり出かけた。議会は始まっていった、議場に頭を下げながら入った。正面に町長さんを始め議長さん、各課の課長さん達差し向かいで手前に議員さん達。議員さんの声かけで質問と声がかかる、答弁する各課の課長さん達。数回の質問と答弁の繰り返し、私自身も手に力が入る。全議員さん達の真剣な姿を見る事ができた。議会の傍聴とても有意義なすばらしい一日だった。

編集室より

あけましておめでとうございます。平成26年度中は様々な出来事がありました。年末の慌ただしい中、衆議院が解散し、総選挙が執り行われました。また、それに伴い、県知事が辞職をするという事態となり、県知事選挙も執り行われました。選挙は一人ひとりに与えられた権利です。棄権することなく、大人としての意思表示をしましょう。

町民の皆様におかれましては、健康には十分注意され、より良い一年となりますよう祈念いたします。

編集委員会

- 委員長 所賀 廣
- 副委員長 田川 浩
- 委員 牟田 則雄
- 委員 江口 孝二
- 委員 平古場 公子

街角クイズ!!

お買物券が当たる!

Q) 町内のどの地区でしょうか?
A) ○○地区

解った方は、ハガキに答えを明記し、住所・氏名電話番号をご記入の上、下記に応募下さい。

〒849-1698
藤津郡太良町大字多良1-6
太良町議会事務局「街角クイズ係」宛

※締め切り/2月末日 消印有効
※当選発表はお買物券の発送(抽選)をもって代えさせていただきます。
※前回は無数のご応募ありがとうございました。